

福島第一原子力発電所の状況

2016年2月23日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/23 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.5 m ³ /h	14.4	1.27 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.1 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	19.2	5.32 kPa g	A系： 0.01 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	17.0	0.24 kPa g	A系： 0.07 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.08 vol %

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (2/23 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.5
2号機	循環冷却システム	運転中	24.3
3号機	循環冷却システム	運転中	20.1
4号機	循環冷却システム	運転中	9.0

各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドランジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/23 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2/22 9:30 頃 5号機原子炉建屋5階オペレーティングフロア上にいた当社社員が、SFP内底部に設置してあった、機器貯蔵ピット残水移送作業で使用していた浄化用フィルタ(重量約 130kg)が、使用済燃料集合体ラック上部に移動していることを発見。5号機原子炉建屋のエリアモニタおよびダストモニタの指示値に有意な変動は無い。
その後、現場状況等を確認したところ、当該フィルタについては、移動前はSFP内底部に設置してあったが、何らかの原因により当該箇所への移動が発生したものと判断。
- 2/23 11:50 水中カメラにより当該フィルタの状態確認を実施したところ、燃料集合体への干渉等の異常は確認されなかったことから、当該フィルタを燃料集合体ラック上部から燃料集合体に干渉しない場所(SFP内燃料キャスクピット底部)へ移動することとし、同日 13:35 に完了。当該フィルタが確認された箇所周辺の燃料集合体について、水中カメラによる外観点検を実施したが、変形等の異常は確認されなかった。

- ・2/23 16:00 雑固体廃棄物焼却設備は排ガス冷却器の点検口から水が滴下していることを確認したため、汚染のある雑固体廃棄物を用いる焼却試験(ホット試験)を中断したが、不具合があった点検口フランジ部のガスケット交換が終了したことから、ホット試験(B系統)を再開。なお、A系統についても当該部のガスケット交換終了後にホット試験を開始する。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06 ~ 7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17 ~ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。
・一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日2/17]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/24に海洋の排水を開始予定。

[地下水バイパスの状況]

- ・地下水バイパス揚水井No.1~12のサンプリングを継続実施中。
・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の分析結果[採取日2/10]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、2/23 10:09より海洋への排水を開始。

[1~3号機放水路の状況]

- 1~3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
<最新のサンプリング実績>
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
・今回の分析結果については、セシウム-134、セシウム-137、および全ベータの値が、前日の分析結果よりも低下していることを確認。

[H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- <H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

- <地下水観測孔・海水サンプリング実績>
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- <地下貯水槽サンプリング実績>
・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上